

大河内集落「集落営農ビジョン」規模拡大型

作成日： 令和2年 5月18日

修正日： 年 月 日

市町村名	倉吉市	組織名	お米屋 田助	
1 地区の範囲 倉吉市大河内地区				
2 地区の概要				
水田面積	19.57ha	主な水田栽培作目	水稻 農家数 34戸	
認定農業者数	0経営体	人・農地プランの中心となる経営体数	1経営体	
3 組織の概要				
設立時期（規約等の制定日）		令和2年3月4日	構成農家数 3戸	
組織形態（該当形態に○を記入） ・ 共同利用型 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 作業受託型 ・ 協業経営型				
4 集積（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標				
【項目】		【現状】	【目標】 令和5年度	
農地の集積	集積面積 A	0.0ha	11.05ha	
	対象水田面積 B	19.57ha	19.57ha	
	集積率 A/B	0.0%	56.5%	
	地区外集積面積 C	0.0ha	0.0ha	
	経営面積 A+C	0.0ha	11.05ha	
世代交代への取組		現在3戸（4人、63歳、息子（36歳）、56歳、55歳）の組織	息子36歳中心に37歳、32歳の若手農業者に加え、定年退職者等を構成員に含めた組織にしていく。	
新規就農者の活動参画			若手農業者、定年退職者等を構成員に含め、オペレーターを育成する研修等も行っていく。	
5 添付資料				
集積状況一覧（別表1、2）、機械の利用計画（別紙）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）				
注1）目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から3年以内のいずれかの年度で設定すること。				
注2）経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表1、2）により作成すること。				

I 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

1 担い手の明確化及び水田利用集積目標

- ・大河内地区の水田農業を守るための集落営農組織を設立し、乾燥機等を導入して地域からの要望に応じて収穫・乾燥調製作業を行うことで、将来的に大河内地区の水田農業の維持・発展のための中心的な役割を担うことを目指す。
- ・昨今の状況下では、集落内で高齢化等の理由により廃業される農家があり、農作業委託の依頼が増えているが、集落外へ委託をお願いしても中山間地であるため、受けてもらえない。
- ・今後、組合の構成員が所有する農用地及び賃貸借権を有する農地の経営と地域からの農作業の受託面積の規模拡大をしながら、地域に残された農地が耕作放棄地にならず、水田としての機能を発揮できるような組織（担い手）としての責任をはたしていく。

2 水田の作付計画（水稻以外の作物を含む）、活用方針・具体策

- ・円滑な生産調整を行うため、地区内で達成すべき生産数量目標をもとに、集落毎に水稻作付計画と生産調整計画を決定している。
- ・水稻品種については、作業効率を重視しコシヒカリを作付けし、生産調整の協力部分で飼料用米を作付けしている。

3 農業用機械施設の効率利用

- ・これまで、水稻収穫作業は個人が所有するコンバイン3条刈り1台と組織で所有する4条刈り1台を利用し、オペレーター2人・運搬人2人で、乾燥機2台にて作業を行ってきた。
 - ・しかしながら、これまで使用してきた乾燥機が焼失したため集落外の乾燥施設に運搬し乾燥を行うこととなり、作業効率及び収穫面積が低下した。
- そこで、組合で乾燥施設を購入することにより高効率、作業時間の短縮、及び省力化を図り農地の規模拡大を進める。また、組合の構成員で定期的に乾燥施設の点検を行い、農作業安全に努める。

4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針

現在3戸（4人、63歳、息子（36歳）、56歳、55歳）の組織ですが、息子36歳中心に37歳、32歳の若手農業者に加え、定年退職者等を構成員に含めた組織にしていき、オペレーターを育成する研修等も行っていく。また、小学生等の孫に田植えや収穫体験などの農業体験を通して米作りの楽しさや大切さを伝え、次世代へと継承していく組織にしたい。

5 経営多角化の方針・具体策

Ⅱ 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額（円）	導入予定年月	本事業による 導入機械に○
倉庫 (組立施工費共)	巾 9.0m、 奥行 5.4m、 高さ 4.5m	1	6,333,500	令和2年7月	○
乾燥機	HD-34MR2	2	3,444,000	令和2年8月	○
ライスストッカー	RT-43C	1	463,000	令和2年8月	○
粗選機	ER-53	1	240,000	令和2年8月	○
籾摺機	SH-510	1	944,000	令和2年8月	○
米選機	CRV-32A	1	380,000	令和2年8月	○
色彩選別機	YFG2000S	1	2,300,000	令和2年8月	○
コンプレッサー	POD-22MNp	1	826,000	令和2年8月	○
米選機	CR-32AH	1	274,000	令和2年8月	○
精米機	R553E	1	162,000	令和2年8月	○
電気工事			687,378	令和2年7月	○